

# 「科学雑誌で学ぶ日本語Ⅱ」作文練習 16

木下大輔

2022年06月08日

## 1 第一問

「このような昆虫を、遺伝子ドライブを使って大量死させることができれば、その地域の農業に壊滅的なダメージをあたえかねない。」という文がありました。「…動詞 + かねない…」を含む文を作りなさい。

## 2 第二問

「しかし、最初の生命がどのように誕生したのかというのはいまだにわかっておらず、今のところ直接調べるすべもない。」という文がありました。「…いまだに…」を含む文を作りなさい。

## 3 第三問

「しかし、細胞の機能を部分的に実現した『人工細胞』は、すでにつくられている。」という文がありました。「…すでに…」を含む文を作りなさい。

## 4 第四問

「スカスカの部分がほんとうに不要なのか、不要だとしたらなぜ存在するのか。」という文がありました。「…ほんとうに…」を含む文を作りなさい。

## 5 第五問

「そのしくみが、DNAを入れただけの球体にはそなわっていないからだ。」という文がありました。「…だけ…」を含む文を作りなさい。

## 6 第六問

「それでも研究者が人工細胞をつくらうとする理由の一つは、研究を通して『生命の起源』にせまることができるかもしれないからだ。」という文がありました。「…かもしれない…」を含む文を作りなさい。

## 7 第七問

「興味深いことに、しほりこんだ 473 個の遺伝子のうち 149 個の遺伝子が何をしているのかや、なぜ必要なのかは、実はまだわかっていない。」という文がありました。「…まだ…」を含む文を作りなさい。

## 8 第八問

「一方、塩基を一つずつ化学反応によってつなげていく技術が『DNA 合成』だ。」という文がありました。「…ずつ…」を含む文を作りなさい。